

宮古島市 花と緑の島づくり計画書

平成22年8月

宮古島市



# 目次

[ 全体計画 ]		[ II.花の宮古空港 整備事業 ]		河津桜花見公園／平面図	… 28
花と緑の島づくり宣言	… 1	花の宮古空港 整備事業	… 14	河津桜とは..	… 29
花と緑の島づくりプロジェクト八ヶ条	… 2	コンセプト	… 15	河津桜の植栽予定地	… 30
事業計画	… 3	印象とイメージ	… 16	河津桜による新しいイメージ	… 31
プロジェクトの目的とその意義	… 4	花の宮古空港／造作物	… 17		
イメージアップ	… 5	公共施設に於ける緑化方法	… 18	[ IV.新熱帯植物園 構想の推進 ]	
		花の宮古空港／エントランスゲート	… 19	新熱帯植物園 構想の推進	… 32
		花の宮古空港／テラコッタシーサー	… 20	コンセプト	… 33
[ I.植物園リニューアル事業 ]		花の宮古空港／トロピカルガーデン1	… 21	新熱帯植物園／イメージ	… 34
熱帯植物園リニューアル事業	… 6	花の宮古空港／トロピカルガーデン2	… 22	世界の植物園ネットワーク	… 35
コンセプト	… 7	花の宮古空港／トロピカルガーデン3	… 23		
植物園リニューアルについて	… 8	メンテナンス計画	… 24	[ V.その他のソフト事業 ]	
新しい植物園へ	… 9			その他のソフト事業	… 36
トロピカルガーデン	… 10	[ III.河津桜の花見公園 整備事業 ]		花と緑のガーデニング教室	… 37
主な植栽予定リスト1	… 11	河津桜の花見公園 整備事業	… 25	ガーデニング教室イメージ	… 38
主な植栽予定リスト2	… 12	コンセプト	… 26	市民寄せ植え教室	… 39
主な植栽予定リスト3	… 13	河津桜花見公園／イメージ	… 27		

## 花と緑の島づくり宣言

宮古島を花と緑の、彩り豊かな島にする。

自然豊かな宮古を、ひとりひとりの想いで、つくり出す。

日本各地や、世界中から、人々が押し寄せてくる。

どこを撮っても絵になる風景。

空から見ると、島は花の色に染まっている。

まるで花のネックレスのような、

そんな美しい島にして行く事を、ここに宣言します。

宮古島市

## 花と緑の島づくりプロジェクト 八ヶ条

- 宮古島を、花と緑でいっぱいの島にする。
- 宮古島市民及び、観光客に愛される植物園をつくり出す
- 地元の方々に、花と緑の素晴らしさを再認識してもらう
- 子供達に自然の大切さを学び、優しい心を育んでもらう
- 宮古島の印象を「海と、花と緑」に変える
- 花や森を増やし、動物達が生きられる環境づくり
- 花と緑による、コミュニケーションの場の創設
- 宮古島の自然の素晴らしさを伝え、後世に引き継いでいく

# 事業計画

## ハード事業

宮古熱帯植物園  
リニューアル事業

宮古島市熱帯植物園  
元氣再生事業(仮称)

花の宮古空港  
整備事業

河津桜の花見公園  
整備事業

新熱帯植物園 構想の推進

## ソフト事業

宮古島市民による  
花と緑の普及活動

市民植樹祭  
ガーデニングセミナー

小・中学校  
ガーデニング教室

## プロジェクトの目的とその意義

### ■宮古島を花と緑でいっぱいにする

→宮古島が「花と緑の島」というイメージを世界に向けて発信し、大勢の人が訪れ、感動を与え、その輪が島から全国、世界へと広がって行く。

### ■熱帯植物園リニューアルの必要性

→開園後30年以上経過し、宮古島市民及び観光客に愛されてきた公園であるが、施設等の老朽化に加え、変化する現代のニーズに対応が困難な状態である。また、花木、草花の彩りに対する対策が十分でない状況にある。課題の解決を図り、観光客や市民憩いの場所を創設する。

### ■空港緑化について

→宮古島の玄関である、宮古空港。出口を降り立った瞬間から、色鮮やかな花々と、その香りに包まれる事で、一瞬にして南国・宮古島に来た喜びを感覚的に体験してもらおう。

### ■河津桜1000本植樹について

→地元公園などに大量の桜を植え、市民に桜の花見という新たな習慣を提案する。  
また観光客には、宮古島で日本で一番早い花見を、体験してもらおう事が出来る。

## イメージアップ

自然豊かな、海が美しい島  
→海以外の、  
新たな魅力の発見・創造

現在の宮古島イメージ

- ・植物園リニューアル
- ・花の宮古空港 整備事業
- ・河津桜の花見公園 整備事業
- ・新熱帯植物園構想
- ・市民植樹祭
- ・ガーデニングセミナー
- ・小、中学校での園芸教室

## 『花と緑でいっぱいの島』

島のどこにいても、  
色鮮やかな南国植物がある。  
植物園など、海以外の見所。  
どの家々にも花が咲いている。  
一年を通して色彩豊か。  
どこを写真に撮っても、  
絵になる風景。

新しい宮古島イメージ

# 宮古島市 花と緑の島づくりプロジェクト

## I. 熱帯植物園リニューアル事業

「宮古島市熱帯植物園 元氣再生事業(仮称)」



## コンセプト

宮古島のほぼ中心にある熱帯植物園。

その植物園をリニューアルし、多くの人達に訪れてもらう。

一年を通じ、四季折々の花が咲き、沖縄の亜熱帯植物を身近に親しみ、  
知識と理解を深めてもらう。

人工的な雑音を離れ、爽やかな陽光の下で揺れる、ガジュマルの気根を感じる。

山林を散策する事で「心の癒し」が得られ、

子供達には自然を大切にする、優しい心を育んでもらう。

その子供達が大人になり、新たな家族と植物園を散策するような、

世代を超えた共有財産として、ふるさとの景観を保全していく。

そこでたくさんのコミュニケーションが生まれる、

市民の「憩いの場」となるような植物園を創ります。

## 植物園リニューアルについて

熱帯植物園のリニューアルにあたり、県内外の観光客誘致ならびに、宮古島市民の憩う場所の創設を、主な目的とする。

「宮古島は、海が美しい」という評判は、全国的に知名度がある。

その海の美しさに加えて、花と緑でのPRを、島の内外に向けて発信する事により、これまで以上の魅力と、求心力を高める。

それを実現する第一歩として、この現存する植物園をリニューアルし、市民や観光客に愛される植物園を作り出す事を、ここに目的とする。

## 新しい植物園へ

### 現在の植物園

- ・花が少ない
- ・遊歩道の改修が必要
- ・大きな特徴がない
- ・憩う場所が少ない



観光客はもとより、  
地元住民も少ない。

まったく新しいイメージを持った  
植物園へのリニューアル

### リニューアル後

宮古島市熱帯植物園  
元氣再生事業(仮称)

- ・花木、草花で彩る
- ・遊歩道も再開
- ・園内はいつもきれい
- ・魅力ある植物園
- ・施設の充実
- ・皆が憩う場所の創設



より多くの観光客、  
地元住民憩いの場

# トロピカルガーデン



## 主な植栽予定リスト1



ブーゲンビレア(宮古島市の花)

常緑半つる性  
開花期: 1~5月, 9~12月  
強い日光を好み、腐植の多い土地を好む。  
肥料や水分過多になると、  
花が咲かずトゲになる。  
花期はやや乾燥気味に育てる。  
花が終わる5月には強剪定を行う。



ホウオウボク

落葉高木  
開花期: 6~9月  
世界3大花木のひとつ  
日光、石灰岩土壌を好む  
樹木が傘状に広がるので、  
広い土地に植える。



ハイビスカス(ブツソウゲ)

常緑低木  
開花期: 年中  
防風、防潮力に優れる。  
花を毎日咲かせる。  
夏場は水を多く与える



ゴールデンシャワー

落葉高木  
開花期: 4~9月  
なるべく風の影響が少ない  
場所に植栽する。  
花に良い芳香がある



ジャカラнда

落葉高木  
開花期: 5~6月  
世界3大花木のひとつ  
日当たりを好む。ある程度の  
幹の太さにならないと花は咲かない。  
乾燥気味にすると花着きは良く、  
湿潤地では花着きも悪くなる。



アダン

亜熱帯性常緑小高木  
開花期: 5~6月  
日当たり、排水の良いアルカリ  
土壌を好む。  
防風、防潮力に優れる。

## 主な植栽予定リスト2



ガジュマル

常緑高木  
結実期:10~4月  
日当り、排水の良い土地を好む。  
粘性地、乾燥地での生育は向かない。  
強剪定にも耐える。



コバノランタナ

常緑低木  
開花期:年中  
日当り、排水の良い土地を好む。  
樹型を整える為、年に数回の  
剪定が必要。



サルスベリ

常緑中木  
開花期:6~9月  
日当り、排水の良い土地を好む。  
剪定は2~3月に行う。



サンダンカ

常緑低木  
開花期:6~10月  
沖縄三大名花のひとつ。  
日当り、排水の良い土地を好む。  
開花終了もしくは2月に、  
樹型を整える剪定を行う。



カエンボク

常緑高木  
開花期:3~8月  
世界3大花木のひとつ  
風当たりが少なく、  
やや湿り気のある土地を好む。



キンレイジュ

常緑中木  
開花時期3~6月,9~12月  
日当り、排水の良い土地を好み、  
乾燥にも強い。  
生長が早いので、樹型を整える。

## 主な植栽予定リスト3



クロトン

常緑低木  
開花期:2~11月  
日当たりが良く、肥沃で  
排水の良好な土地を好む。  
なるべく風当たりの少ない場所を  
選んで植栽する。



デイゴ

落葉高木  
開花期:4~5月  
沖縄三大名花のひとつ。  
石灰岩質土壌だと生育が良い。  
また乾燥地の方が、開花状態は  
良い。



モクビヤッコウ

常緑低木  
開花期:10~12月  
日当たりの良い乾燥地を好む。  
枝の生長に伴い、枯れた下枝を  
剪定する。



オオゴチャウ

落葉中木  
開花期:6~11月  
沖縄三大名花のひとつ。  
日光を好む。  
移植をすると、落葉する事  
がある。



ゲッキツ

常緑低木  
開花期:6~7月  
石灰岩質土壌または  
砂質土壌を好む。  
乾燥、剪定にも強い。  
花には芳香がある。



ゲットウ

多年草  
開花期:4~6月  
日当たりの良い、  
やや湿った土地を好む。  
花は芳香がある。

# 宮古島市 花と緑の島づくりプロジェクト

## Ⅱ. 花の宮古空港 整備事業



## コンセプト

宮古島の玄関口、宮古空港。

島を初めて訪れた人も、また訪れてくれた人も、

空港を出た瞬間に、花々に囲まれ、その香りに包まれる。

歩いても、歩いても、南国の花と緑が目飛び込んでくる。

宮古島に来て良かった、住んでいて良かったと、

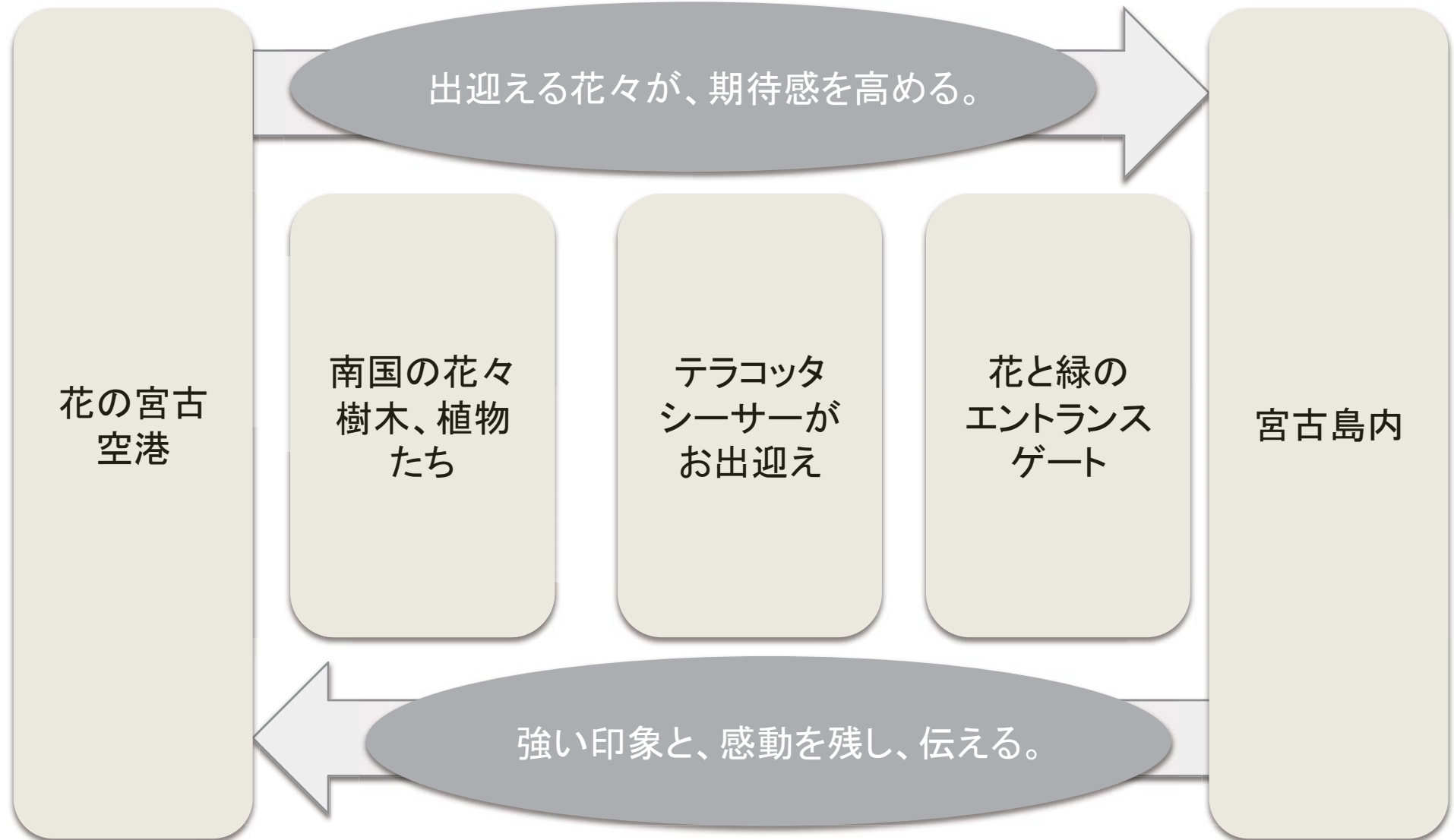
皆が思えるような、宮古空港。

全国、世界各国からのお客様を驚きと感動でお迎えする。

誰もまだ見た事がない、

花と緑で埋め尽くされた空港を、宮古島に初めて創り出す。

印象とイメージ



## 花の宮古空港／造作物

### ■トロピカルガーデン

空港を出ると、至る所にハイビスカスやブーゲンビレアのテラコッタ(素焼き)プランターが配置され、柱にはブーゲンビレアを誘因する為のネットが張られる。琉球石灰岩でライン取りされたトロピカルガーデンが各所に設置される。

### ■テラコッタシーサー

空港玄関を出て正面にすぐ、高さ3～4mの巨大なテラコッタシーサー、その周りを囲むように、トロピカルガーデンが設置される。テラコッタシーサーは記念撮影の絶好の場となり、訪れた方の思い出として強く印象づけられる。

### ■花と緑のエントランスゲート

公道への出入り口付近にエントランスゲートを設置し、出入りするすべての人に、花のアーチをくぐってもらう時、期待感や、名残惜しさを感じてもらう。またここに来たいと思ってもらえるような印象を、花の色彩とともに残す。

## 公共施設に於ける緑化方法



### [ 一般的な緑化 ]

つる性植物(ヘデラ)をネット等で誘引し、緑化を行う。ただし、生長にあわせて細かな誘因処置が必要であり、生長が未知数の部分も大きい。屋上緑化等の場合は、軽量土壌の上に高麗芝などを張り、灌水設備をまわした緑化方法が一般的である。

### [ 花の宮古空港／緑化施行方法 ]

#### ■プランター植栽

ブーゲンビリア等の南国植物をプランター植栽し、柱や壁面にネットを張り、つる性の植物を誘引する。プランターのサイズや土壌の分量によりある程度成長の度合いが限られてしまう為、その場合はプランターの個数を増やす事などで対応する。

#### ■地植え

直接地面の土壌に植栽を行う。土壌が良ければ、植物の成長にとっては一番良い環境であり、時間の経過とともにボリュームの増大が見込める。ただし土壌内の排水状況などを確認する必要がある、それが根腐れ、枯れの原因となることがある。

#### ■仮土壌

コンクリート上などに防水シートを張り、軽石などで排水層を作った上で、土を入れ仮土壌を形成する。ほとんど場所を選ばずガーデニングを施すことが可能になるが、上記同様、排水位置の重要性や、土壌の絶対量による成長の度合いも考慮しなくては行けない。

花の宮古空港/  
エントランスゲート



花の宮古空港/  
テラコッタシーサー



花の宮古空港／  
トロピカルガーデン1



花の宮古空港／  
トロピカルガーデン2





花の宮古空港／  
トロピカルガーデン3



# メンテナンス計画

完工  
～2ヶ月

●2週間に1回の植物メンテナンス  
(剪定／花殻摘み／枯れ植物の交換etc.)

2ヶ月目  
以降～

●月に1回の植物メンテナンス  
(剪定／花殻摘み／枯れ植物の交換etc..)

・  
・  
・  
・

一年目  
以降～

※その他必要に応じて、施肥、病害虫の殺虫、駆除等を行う。

(水やり)

自動灌水システムの設置(タイマー式)

(保証)

枯れ保証期間(一年間)

## 宮古島市 花と緑の島づくりプロジェクト

### Ⅲ. 河津桜の花見公園 整備事業

## コンセプト

今まで宮古島になかった、桜による「花見」の習慣。

日本で一番早く開花し、その開花期間も1ヶ月ととても長いこの河津桜。  
島内での新たな習慣として、2月～3月には、公園で花見を行う。

それが全国に先駆けて行われる事で、

「日本で一番最初に桜が咲く島」

「日本で一番最初に花見が出来る島」

という大きな観光PRのひとつとなる。また、訪れた観光客にとっても、南国特有の花々に加え、季節を問わず様々な色彩を楽しんでもらえる事が、大きなメリットとして挙げられる。宮古島でも桜が咲くんだという驚きと、その色合いの新鮮さを、訪れた方の新たな印象として持ち帰ってもらい、季節を問わず訪れたいと思ってもらえるような、花の島づくりをこの事業によって目指す。

河津桜花見公園／イメージ



# 河津桜花見公園／平面図



## 河津桜とは..

特徴:寒緋桜と早咲き大島桜の自然交配種と  
言われており、樹形は広卵状で樹皮は  
紫褐色で光沢がある。  
花形は平開形で一重のやや下向きであり、  
花弁は5枚の円形で無毛である。  
色は蕾の時は濃紅色だが、  
満開時は淡紅色になる



開花時期:1月下旬～2月上旬

※約1ヶ月間の長期間にわたり開花を楽しむ事が出来る。

由来:昭和49年に静岡県・河津で生まれた桜であることから「河津桜」と命名され、  
昭和50年4月静岡県河津町の木に指定されている。

## 河津桜の植栽予定地

### 各所の公園内

→芝の公園内など、敷地が広く、花見に適している場所  
日当たりと風通し、土壌の水はけも重要となる。

### 街路樹

→桜のトンネルになるような場所、道路の脇や中央の植栽帯

### 公共施設

→市民の目に多く触れる場所

### 一般家庭

→敷地にゆとりがある方には苗木を譲り、育ててもらう。



河津桜による新しいイメージ

日本一早い桜の開花、  
日本一早い花見

→ 島の新たな魅力

※毎年ニュースや新聞等メディアに  
取り上げられる事での、宣伝メリット

市民による、  
花見という新しい習慣、  
楽しみ

→ 島の新たな習慣

※市民の新たなコミュニケーションの場

青い海や、  
南国の花々に加え、  
ピンク色の新たな印象

→ 島の新たな印象

※新しい観光・PRスポット

## 宮古島市 花と緑の島づくりプロジェクト

### IV. 新熱帯植物園 構想の推進

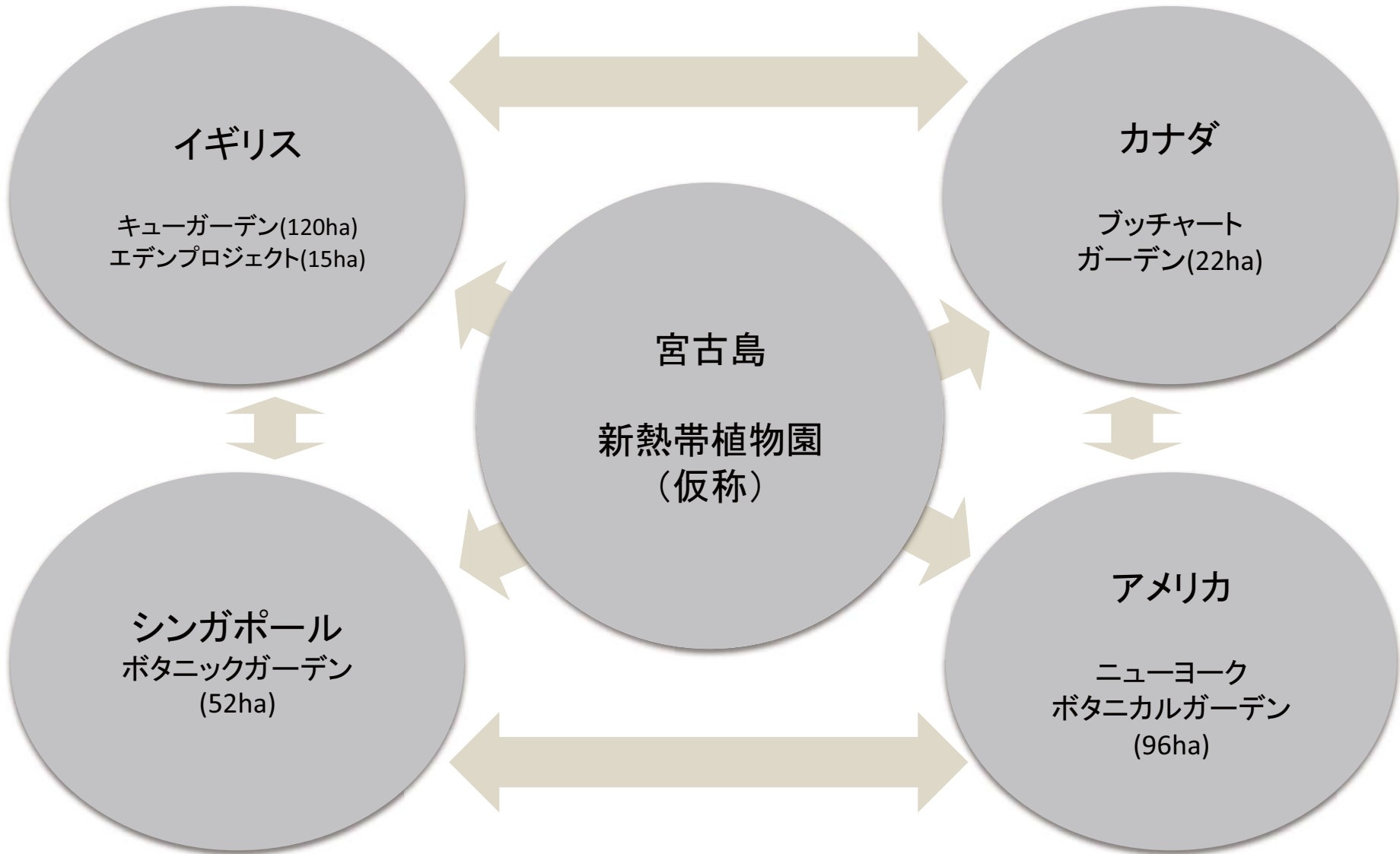
## コンセプト

日本で最大規模の熱帯植物園を伊良部地区に新設する。  
イギリスのキューガーデンや、カナダのブッチャートガーデンのような、  
世界に誇る規模の熱帯植物園を作る。  
日本はもとより、アジアや世界各国のガーデンファンや一般の方々が、  
植物園を見に来る為に、宮古島を訪れるような場所。  
この植物園が伊良部地区に出来る事で、  
花と緑の宮古島のイメージは、全国や世界中にまで伝わって行く。  
空港から島を巡り、この植物園を訪れるお客様は、  
途切れることのない、その花と緑の風景に感動する。  
また何度でもこの島を訪れたいと感じてもらえるような、  
そんな島の代表的な観光場所として、新熱帯植物園は創られる。

新熱帯植物園／イメージ



世界の植物園  
ネットワーク



## 宮古島市 花と緑の島づくりプロジェクト

### V. その他のソフト事業

## 花と緑のガーデニング教室

幼稚園、小・中学校で、ガーデニングを通して、花や緑の素晴らしさを伝え、学んでもらう。幼少、少年期から、花と緑に親しんで育って行く。美しい海と自然によって、健やかに心を育まれる。

その自然を守り、育て、新たにつくって行く事を、子供たちに伝えていく。植物が育って行くには、太陽の光や、水、そして風など、たくさんの自然の要素が必要であり、そして何より、愛情を注いであげることが、一番だと言う事を体験的に学んでもらう機会となる。

宮古島の自然だけでなく、地球規模の環境問題がある現在、未来を担う子供達に、自然や植物を愛でる心を育んでもらう、そんなガーデニング教室を、島の学校を巡り、おこなっていく。

# ガーデニング教室イメージ





## 市民寄せ植え教室



宮古島市民と、花の寄せ植えガーデニング教室を行う。  
花と緑を大事にすることや、ガーデニングをする事により、  
近所同士のコミュニケーションに繋がって行く。  
そして、それらが「宮古島を花と緑でいっぱいにしてよう。」という輪になり、  
島が花と緑でいっぱいになっていく事に繋がって行く。